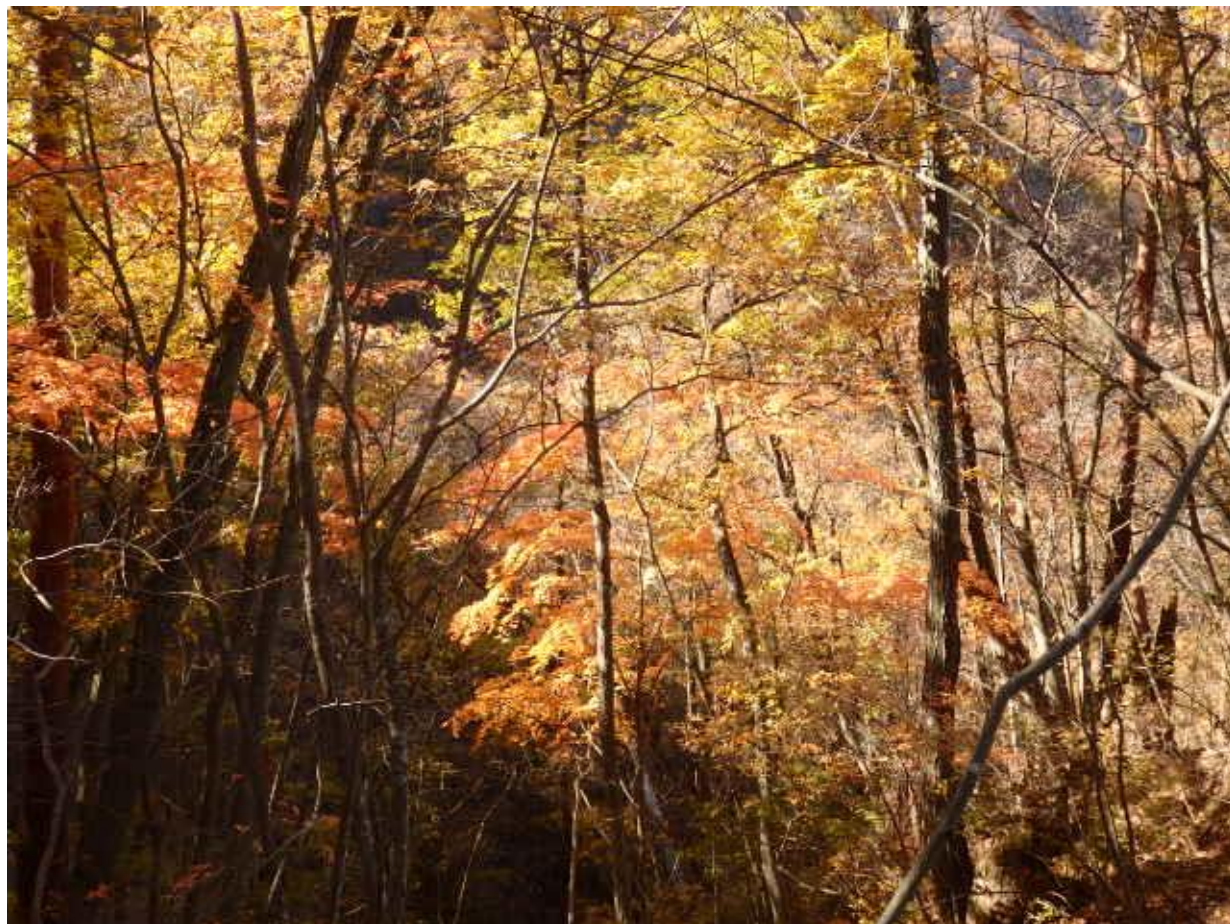


# 山 旅

会報 No. 286

好山好山旅会

H. 29. 12



菊花山の紅葉

## 平成30年1月例会山行計画

第一例会	1月7日(日)	
丹沢	日向薬師～飯山観音	担当者 白井
第二例会	1月13日(土)	
房総	津森山～人骨山	担当者 木村
第三例会	1月20日(土)	
栃木	一床山	担当者 土方
第四例会	1月27日(土)～28日(日)	
北八ヶ岳	本沢温泉	担当者 清水

## 《 中央線 鶴ヶ鳥屋山 》

11月第一例会

11月12日（日）晴れ

参加者 木村(L)、吉田、原田、板橋、大平 計5名

—木村 記—

8時10分頃、参加者全員が大月駅に集合し、タクシーで近ヶ坂橋に向かう。途中、タクシーの中から凛々しく聳える鶴ヶ鳥屋山が見えて登攀意欲が高まる。

近ヶ坂橋から林道を20分程歩いた頃、小さな標識のある登山口に着く。登山口に取り付くとすぐに1メートル幅の沢を渡渉する。登山道は先月の台風の影響で倒木が多く歩きにくい。登山口から20分ほど歩いたあたりで、10分間ほどタイムロスをしてしまった。本来左折すべき個所を気付かず直進し、作業道に100メートルほど入り込んでしまい、引き返したためである。

杉林の急坂をジグザグに登っていくと雑木林の紅葉が現れてきた。その中で原田さんに3枚の葉がある「めぐすりの木」を教えてもらった。

稜線に出ると小さなピークに出た。これが恩六二九石標で唐沢橋への分岐なのだが、気が付かずに通過し、その先の鞍部で休憩した。林道を横切ってから、虎ロープのある急登を四苦八苦しながら稜線に出ると、滝子山が見えた。落葉した林の向こうに円錐形をした鶴ヶ鳥屋山も見えた。



木々に囲まれてあまり展望の良くない山頂には誰もいなかった。木々の間から冠雪した富士山が眺められた。昼食が終わる頃、10人以上の団体が初狩方面から到着し、賑やかになった。下山を開始したが、本社ヶ丸の分岐まで急坂のアップダウンが続き、気を抜けない。分岐からは落ち葉に埋もれた道を下るのみだ。朝の冷え込みで霜が降りた所もあり、慎重に下る。林道を横切り、鉄塔を過ぎると名残の紅葉が現れた。さらに急坂を下り、船橋沢を4回渡渉し、林道に出た。しばらく林道を歩くと新酒フェアで賑わっている笹一に降り立った。この新酒フェアでしか味わえない「もろみワイン」を満足のいくまで試飲した。

天候不良の予報のため1日繰り延べたことにより、晴天のもと名残の紅葉を十分に楽しめた山行になった。

☆コースタイム 近ヶ坂橋 8:25～登山口 8:45～恩六二九石標 9:43～林道 10:00～  
11:00 鶴ヶ鳥屋山 11:30～本社ヶ丸分岐 12:17～林道 12:47～渡渉 13:40～  
14:00 笹一で解散

☆費用 JR 高尾～大月580円 笹子～高尾840円  
タクシー代一人700円

## 《 中央線 菊花山～御前山～神楽山 》

11月第三例会

11月26日(日) 晴れ

参加者 鈴木(陽)(L)、斉藤、吉田、原田、瀬川、木村、板橋、太島、久保田 計9名  
—鈴木 記—

曇りの予報がはずれて暖かい良いお天気となった。紅葉はもう終盤であるがモミジが赤くきれいで十分楽しむことができた。大月駅の真ん前にこんもりとしたお山、すぐ登れそうだがなかなか手強い菊花山。頂上付近では滑落事故もおきている。別名なぜか貧乏山。

大月駅から10分ほどで菊花山登山口に到着。しょっぱなから急登が続き、ロープの張られた岩交じりの道を両手をつかいよじ登る。無辺寺からの道と出会うとやっとなんか緩やかになり、山頂まではひとのぼりである。山頂では富士山が白い姿をみせてくれた。

狭い山頂をあとにして短い距離だが岩場を慎重に下る。名残りの紅葉を楽しみながらどんどん下り、登り返して九鬼山からの道に合流した。北側には大月市街と滝子山から大菩薩に続く山並み、岩殿山、百蔵山、扇山が望まれた。

八五郎岩を右にまき厄王権現への道を左にみると登山者が俄然多くなった。よけて右の急な道を登り御前山に到着した。展望もよく馬立山から九鬼山、道志の山々そして富士山が見渡せた。風で落ち葉が舞いあがり広い空をふわりふわり飛んでいった。昼食タイム。

御前山からの下りはすべりやすく、やはり慎重に下る。20分くらいで神楽山と猿橋駅への分岐に着き神楽山へひと登りする。展望も何もなく往復10分で分岐に戻った。

あとは猿橋の町まで下るのみ。これがまた急な道の連続で、しばらくは気が許せない状態が続き、杉林に入りようやくほっとする。りっぱな舗装道路に降り立ち猿橋駅まではすぐであった。

☆コースタイム 大月駅 9:35～菊花山登山口 9:45～10:20 菊花山 10:25～沢井沢ノ頭分岐  
11:15～11:40 御前山 12:10～神楽山分岐 12:23～神楽山 12:26～  
分岐 12:35～登山口 13:05～猿橋駅 13:20

☆費用 高尾起点 電車代 高尾～大月 580円  
猿橋～高尾 580円

## 《 新ホームページについて 》

先月の山旅 285 号に掲載した記事を一部訂正のうえ、再掲いたします。

当会のホームページの管理運営については、高橋相談役から退会の時まで継続しホームページの管理運営を続けたいという申し出を役員会の前に受けておりました。一方、新ホームページ作成については一定のご理解を頂いておりました。現在のホームページの管理運営には高度な専門知識を要し、将来の高橋相談役の退会時に引き継ぐとしても他の会員では困難と判断し、管理が容易にできる新ホームページへの移行を役員会に発議し、検討した結果、出席役員の賛同を受け、ホームページを新たに作成することになりました。高橋相談役の御意向には反しますが、管理運営の容易さ、将来への備えとして新ホームページへの移行を決定いたしました。

新ホームページのドメインは <http://kozanko.com/> です。グーグルでも「好山好山旅会」で検索可能です。また、このホームページはスマートフォン対応になっています。

平成 30 年の年間山行計画表もすでにアップされていますので、来年 1 月以降の例会山行につきまして、担当リーダーの方は計画書を木村宛にメールしていただいた上で、新ホームページの掲示板で参加募集していただくようお願いします。

なお、このホームページの機能の制約上、写真帳がありません。また山行計画書の PDF をリンクで貼ることができません。何卒ご了承ください。

## 《 当会のホームページの歴史 》

高橋相談役の「連絡帳」への投稿を原文のまま掲載します。

■現ホームページの生い立ち : 高橋 [2017/11/06]

平成 10 年 4 月に「山の談話室」第一号が発行されました。これを編集・作成されたのは 9 年前に退会された栗原様でした。現在 84 歳でお元気です。その栗原様と平成 13 年 6 月第 1 例会がサンレモン六本木で開かれた晩餐会の折りに、当会のホームページを作りましょうと意見が一致し、翌月 7 月に私が加入していたプロバイダーの ASAHI-NET 上でホームページを発表いたしました。

当初は山行に関して必要な情報を掲載することが目的で「連絡・規約など」ページに、第一報として「マイカー規制」を案内、続いて「浅間山の登山解禁」を載せました。また、天気予報、ダイヤ検索、地図検索等が容易に出来るよう「便利リンク」や「お天気リンク」を作成しました。

栗原様が加入しておられたプロバイダー上で山行記録集も発表されました。ただ、この当時は ADSL 方式の通信回線が導入されましたが、通信速度が遅く、また、何よりもプロバイダー上でホームページを掲載するための容量も制限があり、大きな容量を確保しようとする多額の費用がかかりました。そこで山行記録集は CD で配布し閲覧してもらいました。このことが「連絡・規約など」ページに載っています。平成 14 年 4 月です。

プロバイダー上でなく無料サービスを利用して「山の談話室」をアップしたのが平成 14 年 5 月、同時に「連絡帳」をホームページに作成しました。その年の 5 月には『ホームページから山行申し込み出来るようになりました。』と「連絡・規約など」ページに記載されています。

しかし、「写真帳」の運用開始は翌年の平成 15 年 4 月になります。その時点では、ホームページの容量の制限から、1 回の投稿で 1 枚の写真に限定されていました。

その容量制限を解除し、「写真帳」も「連絡帳」も無制限で利用可能としたのは 5 月です。「連絡・規約など」ページに『好山好山旅会専用サーバを構築しました。』と誇らしげに掲載しています。パソコンを利用して『自宅サーバーを構築した。』のです。そして役員会の承認を受け、当会の正式ホームページとなりました。当然ですが独自ドメインも取得しました。

#### ■現ホームページの思わぬ貢献 : 高橋 [2017/11/10]

当会は年度はじめに前年度の会計報告を行っています。

私が当会の役員を始めて務めたのは会計監査でした。その時の会計係は斉藤様が務められており、当会の会計が赤字であることを指摘されました。2005 年度の会計報告には支出合計 369,439 円、内繰越金 82,959 円とありました。斉藤様が指摘される以前は繰越金があり黒字とみなされていました。しかし、次年度会費として集めたのは 235,750 円でした。繰越金がこれより大幅に少なかったのです。

2006 年の役員会で、このことが問題提起され赤字解消策が検討されました。その結果 2006 年度より山行参加費として 1 回の参加につき 200 円を徴収することが決定しました。以降、山行参加費の徴収が行われました。

ちなみに 2005 年度の最大の支出は会報や山行計画書の送付費で 95,976 円でした。そのほかの通信費が 7,190 円でした。会費の約半分は会報や山行計画書の送付費に使われていました。繰越金はこれよりも少なかったのです。

2009 年度の会計報告では支出合計 709,120 円、内繰越金 469,994 円となりました。次年度会費として集めたのは 218,725 円でした。繰越金がこれより大幅に多くなりました。赤字は見事に解消されて大きな黒字になりました。これ以降、山行参加費の徴収は廃止されました。さて、ここまではホームページの貢献は関係ありません。

2015年度の会計報告を見ると通信費は6,884円に過ぎません。何故かは皆さんご承知の通り、会報や山行計画書が送付されていないからです。

会報や山行計画書はホームページに掲載されています。そこから各自がダウンロードして印刷し使ってもらっています。この考えはホームページ設計時から意図されていたもので大きな目的の一つでしたが、支出を減らすことに繋がろうとは思っていませんでした。また、その効果により会費の減額やスポーツ保険料への充当、納会等の費用の一部負担等も行われるようになりました。その思わぬ貢献は2005年度と2015年度の会計報告から明らかです。

今では次年度会費の3倍近い額が繰越金となっています。

## ■コミュニケーションツールとして : 高橋 [2017/11/14]

「生き立ち」に記載のように、現ホームページは2001年7月にASAHI-NET上で公開しました。しかし、プロバイダーのサービスでは容量に限界があり、2002年5月にパソコンを用いて自宅サーバーを立ち上げました。2011年4月に大塚商会のレンタルサーバーを借りるまで、自宅サーバーに用いたパソコンは約9年間で4台でした。内、1台は大田様より拝領したパソコンでした。

私が入会した20年前は山行の申し込みは電話や葉書・手紙で申し込んでいました。また、印画紙に焼き付けられた写真が山行の際に交換されていました。写真は1枚40円の決まりでした。写真を撮って渡す方は、渡される方と山行で会うまで、何回も写真を持参されるご苦労がありました。

個人的な昔話になりますが、その20年前にヨセミテ国立公園で購入したCDに感激しました。音楽ではなく写真集それも解説付きでした。それがHTML言語で作成されていることを知り、自分もホームページを作成したいと思いました。飼っていたペットのページを作ったり、地学ハイキングのページを作り、文中の単語をクリックすると説明文が表示されるものを作りました。高校教員の方に好評を得て、CDに焼きお渡ししたこともありましたが、一方的なものでコミュニケーションツールにはなりませんでした。

会報や山行計画書のPDFファイルをアップし皆様に提供できる環境を作ること以上に、本ホームページが強く意図したことはコミュニケーションツールとすることでした。

参加者募集や申込に限らず、写真を誰でもアップすることが出来て、返信コメントも書けるように、交流の場とすることでした。当会は集会場所を持っていないだけでなく、定期的な会合もありません。その集会場所や会合の役割をホームページに持たせたいという願いでした。

山行申込は連絡帳「山の楽しみ」で、写真アップは写真帳「みんなの笑顔」と分けましたが、設計は共通しており連絡帳でも容量の小さな画像はアップできるものになっています。本ホームページの成功と言えるのは連絡帳「山の楽しみ」と写真帳「みんなの笑顔」にあると思っています。

## 《 平成30年度会費納入のお願い 》

会費納入の時期です、恐れ入りますが平成30年2月末までに納入くださいますようお願いいたします。

1)会費 4,800 円

但し、平成30年4月1日～平成31年3月31日迄

2)スポーツ安全保険

作年度よりスポーツ安全保険の掛金が65歳以上と未満で区分され、65歳以上は年間1,200円に改定されました。65歳未満は従来通り1,850円です。(掛金の違いは保険金額においても差が生じます。)

保険料は一律1,200円を徴収することとし、65歳未満との差額650円は当会運営費で補てんします。

3)平成30年度分の納入額は以下のようになります。

振込金額：会費4,800円＋スポーツ安全保険1,200円＝計6,000円

振込方法：郵便振込（振込用紙は各自郵便局で入手してください）

ゆうちょ銀行 加入者：コウザンコウヤマタビカイ

記号：10030 口座番号：32588101

振込期限：平成30年2月末

振込先、記号、口座番号等をしっかりと確認して記載間違いのないようにお願いします。

なお、12月10日の納会に参加される方は、その際に納入できます。

★11月第二例会の今倉山～二十六夜山は天候不良のため、中止になりました。

★平成30年年間山行計画に一部変更があります。

詳細は新ホームページ(<http://kozanko.com/>)をご覧ください。

山旅 No.286 平成29年12月1日発行 発行者 白井 裕 編集者 木村 成雄  
発行所 埼玉県所沢市寿町 23-2 グレーシアタワーズ所沢 T-2005 白井方 好山好山旅会  
WebSite <http://www.kozanko.net/>および <http://kozanko.com/>